



# 五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

令和3年2月26日 No.14

## 他人の存在を意識する

さる2月8日(月)放送による朝礼で「他人の存在を意識することの大切さ」について生徒に話しましたのでご紹介します。

「毎日の学校生活でも家庭での生活でも皆さんの周りには友達や家族が必ずいると思います。こうした身近な人、親しい人に対しては、自分の考えや思いを理解してくれているという思い込みや甘えが出やすくなります。このことが遠慮のない言葉かけや態度などにつながりやすいものです。コロナ禍で自分自身と向き合う時間が多くなり、自分のことを心配してくれている人、応援してくれている人がいることに気づきにくくなります。自分のことに夢中になると周りが見えなくなり、自分の行為に気づかず、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、相手を失望させてしまったりすることになっていないか、自分の言動を冷静に判断し、相手の立場や気持ちに思いをいたすことができる人になってほしいのです。あなたのことを心配している人は、言葉で直接『あなたのことを心配している』とは言わないものです。

友達と一定の距離を置き、冷たくしなさいと言っているのではありません。つつい一方的に自分の意見を押し付けていないか、それを実は相手が嫌がっているのではないかと冷静に振り返ることが大切なのです。もし、自分の行為が相手にとって負担になっているとしたら、直ちに改善し、良好な関係に戻すことが一番の優先事項とならなければ、いつかは、友人と思っていた人もあなたの傍から、去っていくことになるでしょう。改めて自分の周りの人の存在、その人とのかかわり方について振り返って、良好な人間関係の中で、学校生活や家庭生活を送ってほしいと願っています。」

## 安全確保のために

今月の安全指導として、学校周辺の危険個所の調査を実施した結果を模造紙に記載して各階の廊下に掲示しました。交通事故の発生場所、通行の際に気を付けた方が良いと思われる場所、不審者情報が得られた場所などを生徒が記録してまとめたものです。また、各学級で教員から注意喚起の指導も併せて行いました。



## SNS教室(セーフティ教室)の開催

最近の小・中学生や高校生が巻き込まれる事件・事故の原因の一つにSNSの存在があるといわれています。日常の友人関係のトラブルやいじめの原因となっている例も多いと思います。コロナ禍の現在、人と直接会うことが制限されることで、これまで以上にSNSが利用されることとなります。SNSは便利で有効なツールであることは改めて言うまでもありませんが、使い方を間違えると自らの意図とは関係なく他の人に大きな迷惑をかけてしまうこともあります。

このことを踏まえ、専門家をお招きし、1年生を対象にこれまで発生した具体的なトラブル例などを示していただき、生徒に注意喚起をしてもらいました。わかっている、自分だけは大丈夫と思う心隙を作らないようにすること、SNS利用上の注意点やマナーなどをきちんと守って利用する必要があることを学びました。この機会にご家庭でもぜひ、改めてSNS利用上の留意事項の再確認をしていただければ幸いです。



## 部活動について

すでに府中市教育委員会からの通知でお知らせしたとおり、緊急事態宣言下ですが、一定の制限のもと部活動が再開されました。平日のみ週に最大2回まで、午後5時30分には完全下校するというきまりで実施されます。対外試合や練習会等は引き続きできません。活動は校内に限られます。このきまりは、府中市立中学校全体の共通のルールですので、このルールに則って実施しますが、感染防止の徹底を最優先にした活動となります。

## 教諭の退任・復職について

令和2年4月から育休代替の教員として勤務していた英語科の岩崎正之教諭が退任し、2月17日から横山菜都美教諭が復職いたしました。担当の学年は3学年で副担任となります。

## 後期学校評価について

2学期末に実施させていただきました後期の学校評価アンケートの結果をご報告申し上げます。前期と同様に3学年分をまとめた学校全体の数値として掲載いたします。今回は、保護者の皆様からの評価も報告させていただきます。なお、自由記述として保護者の皆様から頂戴したご意見・ご要望等につきましては、その代表的なものを掲載させていただき、学校の考えも併せてお知らせいたします。今年度は、コロナ禍のため学校行事や授業参観の中止が重なり、生徒たちの学校での様子をご覧いただく機会がほとんどない中での評価となり、回答が難しい状況であったことをご詫言申し上げます。今回の学校評価の結果を今後の教育活動の改善及び一層の充実に役立ててまいります。ご多用な中、アンケートにご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。

ご意見・ご質問	学校の考え
公開授業をしてほしい。英語検定や漢字検定もしてほしい。	残念ながら今年度は公開授業を実施することができませんでした。今後は新型コロナの感染状況によってですが、3月実施予定の作品展をご覧いただけるようにしたいと思っております。また、本校では例年、英語検定と数学検定については会場校として実施しています。なお、漢字検定については小学校や一般の会場を利用させていただいております。
保護者にとっても経験したことのない時代の中にいます。最近、感染者数が増えだし、感染経路等が不明なことも多く不安です。学校がどのような対策を取っているのかがわかりにくいと感じます。学校配信メール等でお知らせいただけると幸いです。	一日の終わりには、教室をはじめ廊下や階段の手すりなど共用部分を含めて消毒を行っております。マスクの着用や授業中も距離を取っての指導などの感染防止策は継続しております。今後ともこうした対策等に変更が生じた場合や新たな取組を行う時には、保護者あての通知文、学校ホームページ、学校配信メールを通じてご連絡させていただきます。
コロナ禍の中、行事が行えず子供たちにとっては我慢の時期が続いています。保護者の参加はなしでよいので運動会など、できる限りの形でよいので実施してほしいと思います。	コロナ禍であっても感染防止のための対策を徹底した上で、実施日や実施形態を変更しても可能な限り、学校行事を実施したいと検討を重ねた一年でした。今後とも、コロナの感染状況等に鑑み、何ができて何ができないのかを十分検討し、可能な限り実施ができる方策を探ってまいりたいと思います。

